

オペラ

# ポラーノの 広場

全3幕

令和3年 8月14日[土]

静岡音楽館AOIホール

原作／宮澤賢治  
作曲／新倉健  
台本・演出／中村敬一  
指揮／置塩孝裕  
オーケストラ／  
ファミリー・アンサンブル  
主催・制作／  
オペラ・ディ・ファミリー

舞台監督／小野初美  
照明音響／エスピーエスたくみ  
稽古ピアニスト／  
久米涼子、松下尚充、市川善忠  
副指揮／石原久章  
振付／中村尚香  
イラスト／静岡聖光学院美術部  
練習音源制作／千葉雅之

賢治が描いた理想郷「イーハトーヴ」  
少年が追い求めるのは理想郷「ポラーノの広場」  
それは実在するのか夢なのか？  
賢治の言葉を辿って  
「ポラーノの広場」を探す  
旅に出ませんか。

思い描く理想郷は本当にあるのか？



■後援／協力 静岡県文化財団 静岡市 静岡市文化振興財団  
静岡市教育委員会 静岡新聞社・静岡放送 静岡朝日テレビ  
国立音楽大学同調会 静岡聖光学院 アルコ・アート  
文化、芸術の橋 Design203



公益財団法人  
静岡市文化振興財団  
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

静岡市文化振興財団事業費助成事業

ON  
STAGE  
SHIZUOKA  
まちは劇場

本日はオペラ・ディ・ファミーユ「ポラーノの広場」にお越し下さり誠にありがとうございます。

昨年は多くの演奏会や舞台が中止となり音楽活動も自粛を余儀なくされ、

音楽のある当たり前の幸せに気付かされた一年でした。

初めて小さなオペラを開いてから早14年が経ち、

今年は新倉先生、中村先生の大切な作品である「ポラーノの広場」を上演致します。

この作品を無事に皆様の前で上演できる喜びを出演者一同噛み締めております。

本日の開催にあたりご協力を頂きました関係者の皆様、ご指導頂きました先生方に心より御礼申し上げます。

私達が作るポラーノの広場を最後までお楽しみ下さい。

代表 澤井妃巳乃

20世紀の初頭、東北の農村にイーハトーブを夢見て生きた賢治。彼の目指した農村の理想郷は「ポラーノの広場」に投影されている。賢治自身、実生活でも、農学校での教職を通して、農民への献身的な活動に身を投じ、やがて教師を辞して農民になろうとさえする。が、その志の途中、彼は病の床に伏す。それほどの思いと裏腹に農民たちとの孤立感、疎外感を深め、農民になりきれないもどかしさに挫折を体験していく。

賢治の分身でもある主人公、キュースト。彼は傍観者であり、よそ者だ。一匹の山羊が村人たちの生活のテリトリーに逃げ込んだことで、深く農民たちの生き方に関わるようになっていく。しかし、そこにあったのは旧弊な持てるものと搾取されるものとの醜い相克だった。

彼は農村の未来への明るい期待を胸に、ファゼーロという若い農民の少年とともに「ポラーノの広場」を探し求める。子供の頃、聞いた伝説のように、つめ草の灯りを頼りに進む。しかし、たどり着いたのは、伝説の「ポラーノの広場」ではなかった。それは、密造酒工場の宴で、県議員が票集めのために催し、それと知って打算の上に集まった村人たちの宴会。

2002年に鳥取でこの賢治の原作をもとに、オペラ「ポラーノの広場」が誕生した。それは、賢治が、キューストが理想郷を探し求めたように、オペラを通して、人々の絆を確かめ合う作業だった。オペラを通して絆を育て、未来を模索する道程だ。

物語では、密造酒工場を共産の地場産業の協同組合に変えて、彼らの新しい「ポラーノの広場」が完成しつつあるように見える。しかし、キューストは、そこを去り、都会へ舞い戻る。永遠の傍観者、キュースト。そこには「迷い続ける一人の修羅、賢治」の「田園の都会人 賢治」の姿がだぶる。原作のキューストの結末、或いは賢治の晩年には、不安や諦めさえ浮かび上がる。それは、やがて迎える大戦の黒い陰なのかもしれない。大いなる挫折は賢治だけのものなのか？ 協同組合の誕生を喜ぶ農民たちの農村改革は本当に美しい未来を結ぶのか？

もしかしたら、本当の理想郷、「ポラーノの広場」に、永遠に巡り会うことは無いのかもしれない。しかし、まさに絆を確かめ合いながら、そこに向かって先に進むことこそ、人間の社会の姿なのだろう。オペラ・ディ・ファミーユがオペラを通して作り出す人々の輪「ポラーノの広場」がどんな広場になるのかを確かめていただきたい。

中村敬一



作曲家

新倉 健

にいくら けん

1951年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。1976年武蔵野音楽大学大学院作曲専攻修了。作曲を福島雄次郎、金光威和雄、指揮法を長谷川朝雄、久保田洋の各氏に師事。主な作品にオペラ「窓～Windows」[madrigal]「ゴング・エカサマ・ブダヤ」、「ケンタウル祭の夜」[星めぐりのためのエスキースI～VI]、朗読と室内楽のための音の絵本「よだかの星」[注文の多い料理店]「セロ弾きのゴーシュ」などがある。また、NYタイムズ紙で好評され米国各地で演奏された「広島が言わせる言葉」、ドイツで出版された「ギター・ジャリ」、オランダで放送された「歌の祭り」など、その作品は海外でも高い評価を得ている。日本作曲家協議会、鳥取オペラ協会会員。作曲グループ「樹」、作曲工房「パパゲーノ」同人。鳥取大学名誉教授。

演出家

中村敬一

なかむら けいいち



武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻、のち舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のもと演出の研鑽を積む。1989年より、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。帰国後、リメイク版《フィガロの結婚》で、高い評価を得、二期会公演《三部作》、東京室内歌劇場公演《ヒロシマのオルフェ》、日生劇場公演《笠地蔵・北風と太陽》で、演出力が絶賛され、1995年、第23回ジロー・オペラ、新人賞を受賞。2000年3月には新国立劇場デビューとなった《沈黙》が、高く評価され、2001年ザ・カレッジ・オペラハウス公演《ヒロシマのオルフェ》では、大阪舞台芸術奨励賞を受賞。オペラの台本も手がけ、松井和彦作曲《笠地蔵》、《走れメロス》、新倉健作曲《ポラーノの広場》、《窓(ウィンドウズ)》などがある。国立音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。

# オペラ・ディ・ファミーユについて

2007年より毎年オペラを上演。「小さな魔笛」でデビューし、静岡市主催事業や音楽鑑賞会などで公演。2010年には木下牧子作曲「不思議の国のアリス」を上演し、時代の文化を創造する新進芸術家育成事業に選ばれました。同年、静岡市民文化会館にて「TO BE FREE〜レ・ミゼラブル」、グランシップでふじのくに静岡県文化芸術発信事業として「ヘンゼルとグレーテル」を上演。他に「天国と地獄」「ミカド」やオリジナル作品「モーツァルトの音楽戦争!!」「夜の秋、鬼灯灯り」なども上演、また2017年には10周年記念事業として伊藤康英作曲「ミスター・シンデレラ」を小編成オーケストラ版で初演し好評を博しました。静岡県に縁のある歌手、器楽奏者で、地域の文化向上の為、幅広い世代にわかりやすく楽しんで頂ける舞台を展開しております。

## story

### 第1幕

〈プロローグ〜キュースト氏の書斎〜〉キューストは、昔モーリオ市の博物館に勤めていた頃の、5月から10月のイーハトーヴォでの出来事を語り始める。

〈逃げたヤギ〉イーハトーヴォでの生活を始めた5月の日曜日、脱走したヤギを見つけてくれた少年ファゼーロに出会い、ポラーノの広場の話を聞く。野原のどこかにどんな人でも上手に歌うことができる広場があるという伝説だ。

〈つめくさのあかり〉それから10日してファゼーロは羊飼いのミーロを連れてきて、三人でつめくさの灯りの番号をたどりながら広場を探しに行く。

〈山猫のパーティ〉しかし広場に到着すると、そこは山猫博士ことデス・トゥ・パーゴ県議員による酒盛りの場であった。歌合戦が開かれる中、酔った山猫博士がファゼーロに激怒し、食卓ナイフで決闘になってしまう。

### 第2幕

〈警察署〉弟の事で警察の取調べを受ける姉ロザーロ。決闘の夜弟は失踪してしまったのだ。キューストは、なぜあの夜彼をそのまま帰してしまったのかと自分を責める。

〈センドード市の毒蛾〉ファゼーロが見つからないまま夏を迎え、キューストは出張帰りに立ち寄ったセンドード市の床屋で、毒蛾に刺され憔悴した山猫博士を見つけ、決闘の夜の事情を知る。彼は工場の経営に失敗してヤケ酒を飲んで、騒ぎを起こしただけであり、失踪には関わっていないと言う話を聞いて別れる。

### 第3幕

〈再会〉9月1日の夕方。ファゼーロが突然やってきて、センドード市の革染め工場で働いていたと打ち明けた。そして集まっていた村人達と新しいポラーノの広場を自らの手で造ろうと誓い合う。若者達は、町の学生達のように学校に通いたいが、仕事に疲れ勉強できないと口々に訴える。キューストは、町の人間の現状を伝え、自分たちは一生今の勢いで勉強していこうと励ます。「風からも光る雲からも新しいエネルギーが来る。僕らはこの野原に本当のポラーノの広場を作ろう」

〈エピローグ〉7年後ファゼーロの経営する工場は軌道に乗り、市の特産品を出荷できるまでに成長した。キューストは博物館員を辞めて、大学や農事試験場などで務めた後、大都会トキーオで働いていた。ある日、年老いたキューストの元に楽譜が届く。そこには聞き覚えのあるポラーノの広場の歌が印刷されていて、キューストは昔の友人たちを懐かしむのであった。

## 出演

performance



キュースト  
三浦正貴

物語の主人公。  
博物館で働いていた。



ファゼーロ  
小田切一恵

テーモの所で働く少年



ロザーロ  
星屋未来

ファゼーロの姉。同じく  
テーモの所で働いている。



山猫博士  
齋藤大輝

県会議員。本名は  
ポー・ガント・デス・トゥ・パーゴ



テーモ  
伊藤安紀

ファゼーロ達の雇い主で、  
乱暴な百姓



ミーロ  
澤井妃巳乃

ファゼーロの  
3つ年上の友達



給仕  
村上裕二

山猫博士の  
パーティーで働く給仕



巡査  
石原久章

ファゼーロ失踪事件を  
担当する巡査



床屋の親方  
山中雅代

センドード市で  
床屋を営業している。



床屋の職人1  
實石彩子

床屋の親方の助手



床屋の職人2  
村上明子

床屋の親方の助手



撃剣の先生  
河合秀明

毒蛾対策の為、  
家の灯りを消す様に  
地域を回っている



ガッティーナ  
いちかわよしただ

山猫博士と  
共に現れる謎の猫

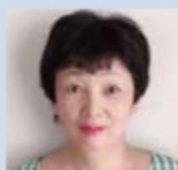




飯田浩子



横澤真由美



高山和子



紅林雪絵



齋藤登美恵



牧田勢津子



岡崎たすく



吉永詩織



池戸綾音



澤井星名



安藤かん奈



佐藤ひまり



野寄結斗



稲葉啓也



杉山孟瑠



望月亜美



平史桜



平明理



相澤そよ



杉浦来実



黄安奈



吉野花菜



水島慶人



星屋颯来



星屋由来

### 山猫ダンサー

岡崎たすく・吉永詩織・池戸綾音  
澤井星名・安藤かん奈・佐藤ひまり



指揮  
置塩孝裕



バイオリン  
村松京



チェロ  
鈴木岳



フルート  
せきちえ



クラリネット  
渡部翔子



オーボエ  
後藤彩



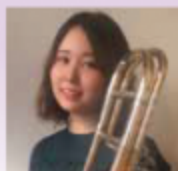
ファゴット  
山田有希子



ホルン  
池田藍



トランペット  
若杉夏絵



トロンボーン  
石橋七星



パーカッション  
望月恵



電子ピアノ  
久米涼子

### ファミリー・アンサンブル famille ensemble



楽器選びは信頼のヤマハ楽器特約店  
もちづき楽器で♪

## もちづき楽器

<巴町本店>中古ピアノ・ギター・LM楽器など  
清水区巴町10-24 TEL: 054-353-2314  
<静岡草薙店>鍵盤楽器・管弦楽器・楽譜など  
清水区草薙杉道3-1-25 TEL: 054-368-6211



音・楽・新・世・紀

## 世界の楽器や楽譜をあなたに！ 音楽のすべてにお応えします

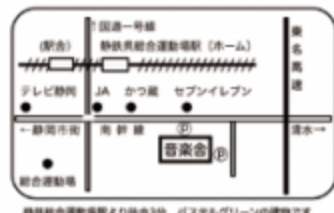
音楽のある暮らし・感動するところ・優しい生活  
それが私たちの願いです

We Sell All About Music

# 音楽舎

The Ongakusha Music Co., Ltd.

〒422-0004 静岡市駿河区国吉田4-8-6  
TEL. 054-265-2930 FAX. 054-265-2932  
URL. <http://ongakusha.net/>  
E-MAIL. [info@ongakusha.net](mailto:info@ongakusha.net)  
営業時間 AM10:30～PM7:00 年中無休(年末年始除く)



静岡総合運動場より徒歩3分、バスタルグリーンの建物です